

**製品名: カゼインキナーゼ I $\gamma$ 1/2/3 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab07944**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:20000-1:40000
分子量	

**抗原情報**

遺伝子名	CSNK1G1/CSNK1G2/CSNK1G3 CSNK1G1; Casein kinase I isoform gamma-1; CKI-gamma 1; CSNK1G2; CK1G2; Casein kinase I isoform gamma-2; CKI-gamma 2; CSNK1G3; Casein kinase I isoform gamma-3; CKI-gamma 3
別名	
遺伝子 ID	53944/1455/1456
SwissProt ID	Q9HCP0/P78368/Q9Y6M4
免疫原	抗血清はヒト CK-1 $\gamma$ 1/2/3 由来の合成ペプチドに対して産生された。アミノ酸範囲: 229-278

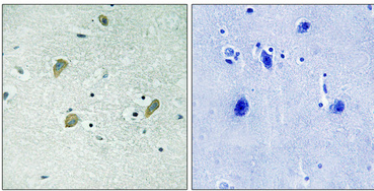
**背景**

この遺伝子は、カゼインキナーゼI遺伝子ファミリーのメンバーをコードします。このファミリーは、カゼインなどの酸性タンパク質をリン酸化するセリン/スレオニンキナーゼで構成されています。コードされているキナーゼは、クラスピンをリン酸化することにより、複製フォークの停止に反応して細胞周期チェックポイントを停止させる役割を果たします。この遺伝子の変異は、非症候性早発性てんかん (NSEOE) と関連している可能性があります。[RefSeq 提供、2016年7月]、触媒活性: ATP + タンパク質 = ADP + リン酸化タンパク質。機能: カゼインキナーゼは、カゼインなどの酸性タンパク質を基質として優先的に利用することで機能的に定義されます。多数のタンパク質をリン酸化できます。Wnt シグナル伝達に関与します。、PTM: 自己リン酸化されます。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。類似性: タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。CK1 Ser/Thr タンパク質キナーゼファミリー。カゼインキナーゼIサブファミリー。類似性:1つのタンパク質キナーゼドメインを含む。サブユニット:モノマー。、

## 研究分野

ハリネズミ;

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高压高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。